会員増強のための活性化会議後 進捗確認シート（2 ヶ月後）

（配布資料②）

地域薬剤師会名：__さいたま市薬剤師会__

地域薬剤師会代表者名：____野田　政充__

① 現在の会員数（市薬）

- 会議時：A 会員__362__名　　B 会員__172__名
- 現　在：A 会員__364__名　　B 会員__173__名
- 増　減：A 会員__2__名　（入会__4__名、退会__2__名）

　　B 会員__1__名　（入会__5__名、退会__4__名）

---

② 実施状況（3 段階でチェックする）

施策	実施状況	内容・結果
施策①	□未着手 ☑実施中 □完了	退会者向けの案内文を作成中。 会員であることのメリットが伝わる内容とその他の付加情報を検討中。
施策②	☑未着手 □実施中 □完了	施策①が完成し次第、A 会員に対してあらためて案内を行う。
施策③	□未着手 ☑実施中 □完了	城西大学とは協定を締結済。 学生会員については現在検討中。 市との協定締結については現在最終段階。

---

③ 成果

- 新規入会：A 会員__0__名　　B 会員__0__名（県薬）
- きっかけ：

  施策は現状検討段階のものが多く、直接のきっかけのひとつにはなっていないが今までの市薬独自の取り組みが評価されているため

---

④ うまくいったこと（任意）

さいたま市薬剤師会内で会員増加のための取り組みが推進されたこと。

---

⑤ 課題・困っていること（任意）

会員になることで得られるメリットがさいたま市薬剤師会と県薬で示すものが酷似しており、県薬に改めて入会するメリットを強く打ち出すことができないことに困っている。

県薬の会費を支払ってでも入会する価値があると判断する県薬でしか出すことのできないメリットをしっかりと考え、実施する必要があると感じる。

---

⑥ 他地域薬剤師会に共有したい工夫（任意）

地域薬剤師会のみの施策実施では県薬会員の直接増には繋がりにくい。

短期的（2 か月）な会員増加のための働きかけだけでなく、持続可能な会員増強には地域薬剤師会に頼らない県薬の会費に見合った独自の取り組みを実施してほしい旨を各地域からも伝えてほしい。

【提出期限：令和８年８月１４日（金)】

※会員増強のための活性化会議２ケ月後